

『SAMURAI KYUSHU』ツーリズム始動
地域に息づく歴史文化を
九州から世界へ発信

JALグループでは、地域活性化の取り組みの一つとして『SAMURAI KYUSHU』に取り組んでいます。九州におけるインバウンド需要の拡大に向けて、各地に点在する魅力的なコンテンツを地域とともに磨き上げ、外国人観光客の誘客を目指しています。

欧米豪からの
インバウンド需要の拡大へ
『SAMURAI
KYUSHU』

年々増加するインバウンド需要。日本全国にある魅力的な観光地が、外国人観光客を魅了しています。九州はアジアを中心に高い人気がある一方、欧米豪からの観光客が少ないことが課題でした。そこでJALは、九州の活性化・インバウンド誘致のため、武士の時代を色濃く残している九州各地を訪ねる『SAMURAI KYUSHU』ツーリズムに取り組んでいます。欧米豪、特に欧州で「騎士道」に通じる「武士道」や「侍」などの言葉がインターネットで多数検索されていることに着目し、『SAMURAI

KYUSHU』としてブランド化を目指しています。例えば、城や武家屋敷への宿泊のほか、日本刀の試し斬り、武士が育んできた華道や鼓道を含め、九州各地に点在する伝統文化や芸能などの体験コンテンツを自治体や地域の皆さまと磨き上げることを目的としています。また、海外でも競技人口が多い剣士を対象に「剣道クリニック」を開催しています。今後、九州各地の『SAMURAI KYUSHU』コンテンツの発掘・磨き上げに加えて、デジタルマーケティングを主体とし、一体的に発信を行うことでインバウンド需要の拡大と地域活性化にさらに力を入れていきます。

長崎県の「平戸城懐柔櫓」で
日本初の常設「城泊」を開始

『SAMURAI KYUSHU』のコンテンツの一つとして、2020年夏には、株式会社百戦錬磨と株式会社アトリエ・天工人と共同参画し、日本100名城にも選定された長崎県平戸市にある「平戸城懐柔櫓」において、日本初となる常設の「城泊」を開業します。城での宿泊のほか、平戸独自の歴史や芸術、食を体感していただくプログラムを実施し、地域活性化につなげていきます。

JALは、平戸城の城泊に続き、九州各地での城泊や武家屋敷泊の推進に力を入れ、インバウンド需要の拡大に貢献し、地域活性化に取り組んでいきます。



「肥後大津民芸造花」熊本県大津町
大津町無形民俗文化財に指定されている伝統工芸「梅の造花」。保存会の指導のもと、本格的な造花制作を体験します



「光月流太鼓」福岡県朝倉市秋月
秋月藩の武家に伝わる「光月流太鼓」。厳かな雰囲気なかで格式ある伝統芸能を体験します



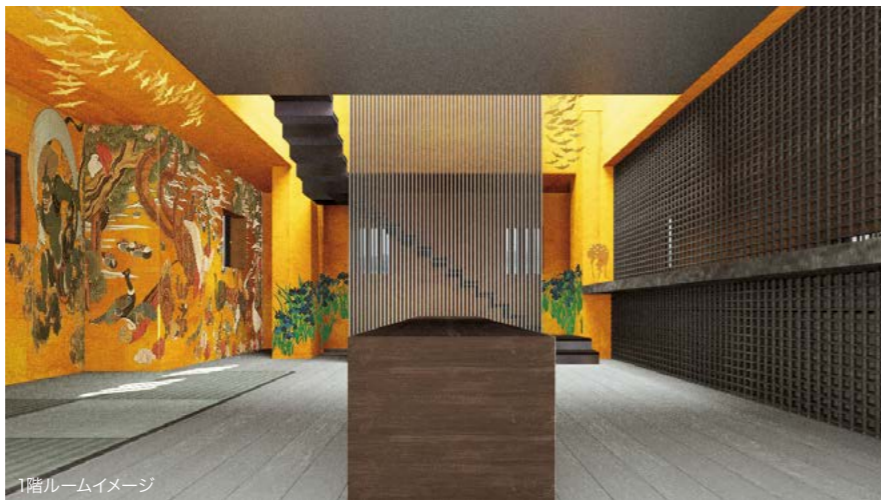
「剣道クリニック」鹿児島県鹿屋市、福岡県宗像市など
日本の伝統的な武道・剣道の体験を通じ、日本の心を知ってもらい、永続的な日本ファンを増やします。剣道の技量向上と昇段審査への対応も行っています



2階ベッドルームイメージ



外観イメージ



1階ルームイメージ

「平戸城懐柔櫓」長崎県平戸市
2020年夏に「城泊」の開業を予定している「平戸城懐柔櫓」のイメージ

